

Unity Connection のディスク領域管理

内容

[概要](#)

[一般的な設定の落とし穴](#)

[メッセージエージング](#)

[複製](#)

[ボイスメッセージストレージ容量](#)

[Logging](#)

[RTMTによるモニタ](#)

[便利なコマンド](#)

[回避する不具合](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unity Connection(UC)のディスク領域が不足しないようにするための戦略について説明します。ほとんどのサーバと同様に、本番環境のディスク容量が不足すると、サービスの停止や潜在的な収益の損失につながる可能性があります。この問題に対処するには、ディスク領域の使用率と発生する可能性のある問題を監視する方法を説明します。

一般的な設定の落とし穴

メッセージエージング

最も一般的な問題は、メッセージエージングポリシーを設定しないことです。シングルインボックス (ユニファイドメッセージング) が関与した場合に発生する問題は、誤解されることがあります。Microsoft Outlookと同期されているメッセージをUCから削除すると、UC上のメッセージは[削除済みアイテム]フォルダに移動します。この時点で、Message Agingをメールボックスに適用する必要があります。これにより、ポリシーで指定された時間に基づいて[削除済みアイテム]フォルダからメッセージをパージできます。ユーザは引き続き電話オプションにアクセスし、[Deleted Items (削除済み品目)]フォルダを削除するように選択できます。詳細については、このドキュメントの最後にある「関連情報」セクションを参照してください。

複製

クラスタ内のレプリケーションを長時間中断しないでください。短時間 (数週間) で、ディスク領域に影響を及ぼすことはありません。ただし、時間が経過すると、レプリケーション要求アイテムは引き続き作成され、ディスク領域に影響を与えます。レプリケーションのステータスを確

認してください。レプリケーションを監視するために使用する便利なコマンドには、次のものがあります。**show cuc cluster status**と**utils dbreplication rntimestate**を使用します。レプリケーションを中断したままにする場合は、クラスタを分割してレプリケーションを無効にすることをお勧めします。詳細については、このドキュメントの最後にある「関連情報」セクションを参照してください。

ボイスメッセージストレージ容量

もう1つの計画ポイントは、ユーザが受信するメッセージの数と各メッセージの平均長を考慮することです。ドキュメントに記載されているように、UCは通常、設定がサポートするユーザ数に基づいて、ユーザごとに20 ~ 30分のボイスメールメッセージを提供します。詳細については、このドキュメントの最後にある「関連情報」セクションの「設計ガイド」および「サポートされるプラットフォーム」ドキュメントを参照してください。

Logging

Show Statusコマンドを入力し、ロギングディレクトリの空き領域が少ないことがわかった場合は、次の手順を実行して空き領域を確保します。

1. [Real-Time Monitoring Tool (RTMT)] > [Trace and Log Central]に移動します。
2. チェックボックスのすべてのオプションをオンにします。
3. 週の範囲を選択します。
4. [Delete Collected Log Files from Server]チェックボックスをオンにします。

RTMTによるモニタ

RTMTを使用すると、特定の条件が満たされたときにアラートを確立できます。ディスク領域に使用可能なパラメータがいくつかあります。RTMTを使用して、ディスク領域以外のUCで発生する可能性のある問題を事前に把握しておくことをお勧めします。詳細については、このドキュメントの最後にある「関連情報」セクションのRTMTのドキュメントを参照してください。

便利なコマンド

次のコマンドは、ディスク領域を確認するために使用します。

- **show cuc dbserver disk**
- **show status**

回避する不具合

発生する可能性のある不具合を認識するために、次の問題を確認します。

[Cisco Bug ID CSCsz72913](#) : スプリット・ブレインの解決により、ディスクへの書き込み機能に影響を与えるinodeの問題が発生する可能性がある既知の問題があります。これは主にバージョン7.xに影響します。

[Cisco Bug ID CSCsx32588](#) – メッセージの削除に問題がある、メッセージ待機インジケータ (MWI)が動作しない、フェールセーフが発生する、その他の予期しない問題の可能性に関連しています。問題は、dyn_dbsが満杯になり、書き込むことができないことです。この問題は主にバージョン7.xで発生します。[dyn]列と[Free MB]列を検索するには、show cuc dbserver diskコマンドを入力します。出力が0.0を返す場合、この問題が発生する可能性があります。

[Cisco Bug ID CSCti68395](#) : セキュリティ上の理由でInternet Message Access Protocol(IMAP)サービスを無効にすると、IMAPキューが作成され、ディスク領域の問題が発生する可能性があります。

関連情報

- [Cisco Unity Connection 9xおよびMicrosoft Exchange for Unified Messagingの設定で削除されたメッセージが表示される場所](#)
- [Cisco Unity Connection 9.xのメールボックスのサイズの制御](#)
- [9.xパブリッシャサーバから接続クラスタのない単一サーバへの変換](#)
- [ボイスメッセージのストレージ容量の設計ガイド](#)
- [Cisco Unity Connection 9.xサポート対象プラットフォームのリスト](#) (各プラットフォームには、おおよそのメッセージストレージ、G-711コーデック、分がリストされます)
- [『Cisco Unified Real-Time Monitoring Tool Administration Guide, Release 9.1\(1\)』](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)